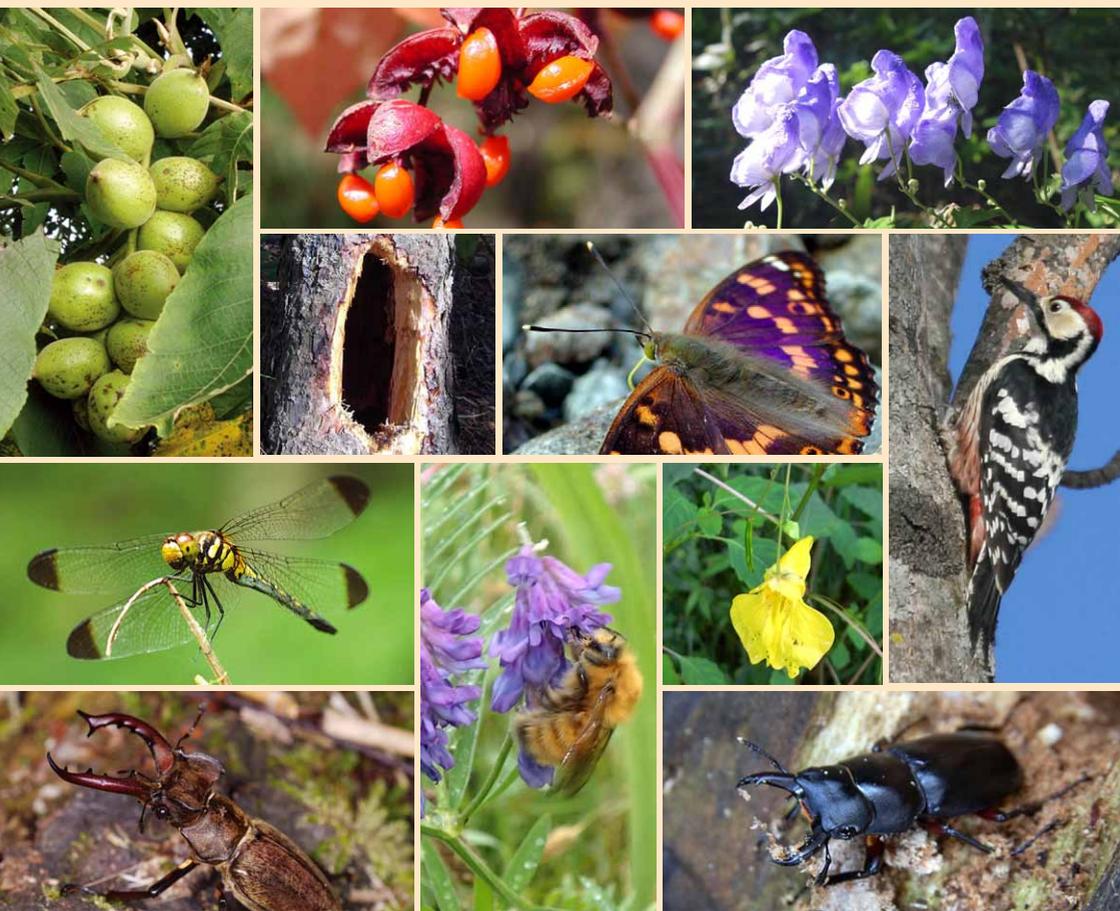


～ 身近な生き物を見つけよう ～

さつぽろ生き物さがし2016

調査の手引き



「さっぽろ生き物さがし 2016」について

札幌市は190万人がくらす大都市ですが、ヒグマのいる広大な森林やサケがのぼる川など、たくさんの生き物がくらす貴重な自然環境が残っています。

「さっぽろ生き物さがし2016」は、札幌の自然環境の状況を把握することを目的に、森林や草地、水辺などの自然環境の指標となる生き物を調べる一斉調査です。今回は、生き物に詳しくない人でも、なじみのある7つのグループを指標として選びました。みなさんからいただいた報告をもとに、札幌の生き物マップを作成します。

参加者には、結果をまとめた生き物マップと記念品をプレゼントします。また、調査地点や報告数が多いチームをホームページ上で発表します。生き物写真コンテストも行いますので、みなさんが撮った写真もぜひお送りください！

●しらべて知りたいこと、分かること

それぞれの生き物が市内のどこに分布しているかをマップにします。また、今回は指標となる種を選んでいるので、市内の各地域がどんな環境なのかを、そこにすんでいる生き物の種類から推定できます。また、今後定期的に調べることで、分布がどう変化していくかを見たいと考えています。

★指標（しひょう）とは——？

ここで言う「指標」とは、環境の良さを診断する「ものさし」です。太い木があるような良好な状態が保たれた森がないと生きられない生き物もいれば、市街地の小さな若い林でもくらしがける生き物もいます。草むら・川・池などのさまざまな環境について、同じように良好な状態でない生き物もいます。このような生き物が見られるかどうかを「ものさし」として、その場所がどんな状況にあるのか、どう変化しつつあるのかを確認することができます。

●参加にあたっての注意

野外での活動は安全面に十分注意してください／お子さんは大人と一緒に参加するようにしてください／私有地には無断で立ち入らないでください／一部の原始林など動植物の採集が禁じられている場所では採集しないでください／秋にはスズメバチの活動が活発になりますので、巣のそばに近づかないよう注意してください／送っていただいたチーム名や写真は、札幌市の広報物やホームページ上で使用する場合があります／報告の際にいただいた個人情報は、本事業にのみ利用します

調べ方・報告の仕方について

● 調査対象の生き物たち

対象の生き物は、夏から秋にかけて見られる7つのグループの動植物です。家の周りや公園でよく見られるものから、豊かな自然のある森や水辺に行かないと見つからないものまで、さまざまな環境にこらす生き物を選んでいきます。



キツツきのなかま



トンボのなかま



チョウのなかま



クワガタのなかま



マルハナバチのなかま



夏や秋にさく花



木の実のなかま

→ 各グループの対象種と見分け方は、6～19ページを見よう!

◆ 調べる

実施期間：7月23日(土)～10月30日(日)

対象の生き物を確認したら、市内各地に見つけに行きましょう。家の庭や学校など身近な場所で繰り返し観察してもよいですし、大きな公園や野山に出かけて、調べてもよいです。また、1つの場所で複数の生き物を調べたり、特定の生き物をいろんな所でさがしたり、さがし方は自由です。にている仲間もいるので、手引きの見分け方のポイントや各種図鑑類を参考にしてください。種類が分からない時は、メールやフェイスブックで写真を事務局に送っていただければ、なるべく種名を判定します。

→ さがす場所は、4～5ページ「ここでさがしてみよう!」を参考に!

◆ 報告する

報告締切：11月6日(日) 必着

結果を調査場所・調査日ごとにまとめて、「報告シート」に書いて送ってください。送るのは調査のつどでも、すべての調査が終わってからでも良いです。メールに添付するか、ファクスや郵便で、締め切り日までに送ってください。たくさん報告できる方は、シートをコピーするか、ホームページ・メールでシートや入力フォームを入手して書いてください。撮影した生き物の写真もありましたら、あわせてお送りください。また、調査の感想や質問、参加風景を撮影した写真も募集しています。メール本文やテキストファイル、お手紙などでお寄せください。

→ 記入のしかたは「報告シート」を参考に!

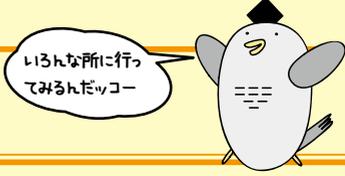
→ 報告・問い合わせ先は裏表紙に!

◆ 結果まとめ

1月送付予定

結果は事務局で整理・集計します。まとめた結果は全チームに送付するほか、記念品をさしあげます。ホームページにも結果を掲載します。特にたくさんの方の地点で調査した参加者や、すてきな写真を送ってくれた参加者には、特別な記念品も用意しています!

ここでさがしてみよう!



「どこでさがせばいいかわからない!」という人に、見つけやすい場所のヒント、市内の代表的な場所を紹介します。

ここでは大きな公園などを中心に紹介していますが、家のそばにある花だんやちょっとした林、草むらなどでもさがしてみてください。

キツツキの観察ポイント

- ・太い木が多い郊外の自然林
→ 藻岩山・円山・野幌森林公園・西岡公園など
- ・市街地の中で自然林が残る公園や緑地
→ 北大植物園・平岡公園・宮丘公園など
- ・人工林でも大きな木がある公園
→ 前田森林公園・豊平公園・月寒公園など

※その他、手稲山や定山溪の山々、滝野すずらん丘陵公園など、市内南部の山地や丘陵地の森林

札幌市内観察ポイントマップ



・滝野すずらん丘陵公園

トンボの観察ポイント

・大きな池がある郊外の公園
→ 西岡公園・モエレ沼公園・東屯田川遊水地など

・市街地で、川や沼のある公園
→ 北大植物園・平岡公園・あいの里公園など

・市街地を流れる川ぞい
→ 星置川・野津幌川・真駒内川・中の川など

※その他、家や学校周辺の身近な水辺

チョウの観察ポイント

・花の咲いているところ、幼虫が食べる草のそば、樹液の出ている木がある場所など

(市街地周辺の森林)
→ 藻岩山・円山・野幌森林公園・西岡公園・旭山記念公園など

(市街地で自然林の残る公園や緑地)
→ 平岡公園・宮丘公園・北海道大学など

(川ぞいの草むら)
→ 豊平川・精進川・真駒内川・中の川・月寒川・厚別川

クワガタの観察ポイント

・樹液の出ている木や朽ち木のある森、林に近く周りが暗い街灯の周り

(市街地周辺の森林)
→ 藻岩山・円山・西岡公園・野幌森林公園など

(市街地郊外の自然林のある公園や緑地)
→ 平岡公園・宮丘公園・滝野すずらん丘陵公園など

(川ぞいのヤナギ林)
→ 豊平川・発寒川・中の川・厚別川など

マルハナバチの観察ポイント

・花の咲いているところ、公園や庭の周り
(郊外の山地)

→ 藻岩山・手稲山・定山溪など

(市街地周辺の森林や草むら)
→ 野幌森林公園・西岡公園・宮丘公園・藻岩山(スキー場)など

(花の多い公園・花だん)
→ 滝野すずらん丘陵公園・さとらんど・豊平公園・百合が原公園など

夏や秋にさく花の観察ポイント

・郊外の山林や丘陵地
→ 藻岩山・手稲山・三角山・白旗山・野幌森林公園・白川市民の森・西岡公園など

・市街地で、自然林の残る公園
→ 平岡公園・宮丘公園・富丘公園など

・川ぞいの草むらや湿った草むらのある公園
→ モエレ沼公園・東屯田川遊水地・豊平川・中の川・発寒川など

※その他、家や学校周辺の身近な公園など

木の実の観察ポイント

・郊外で、自然林がひろがる森林
→ 藻岩山・円山・三角山・白旗山・手稲山・野幌森林公園・西岡公園など

・市街地で、自然林が残る公園や緑地
→ 平岡公園・宮丘公園・篠路五戸の森など

・市内東部のミズナラ・コナラ林
→ 大谷地の森・厚別南緑地など

※その他、家や学校周辺の身近な公園など

キツツキのなかま

※「大きさ」は尾を含めた長さ。

森の木々に穴をあけて巣を作ったり虫を食べる鳥です。一年中札幌で見られます。キツツキがあげた穴は、いろいろな動物がすみかとして利用し、豊かな森の指標となります。



メス



オス

アカゲラ キツツキと言えば!

- 場所** 市街地の公園にも
- 時期** 一年中
- 大きさ** 約24センチ

- ♪ 小さな林でも見られる。
- ♪ 下腹部が赤い。
- ♪ オスは後頭部が赤い。

にている種 オオアカゲラ

- ♪ アカゲラには、背中に白い逆「ハ」の字がある。

オオアカゲラ 大きいアカゲラ

- 場所** 森林や緑地
- 時期** 一年中
- 大きさ** 約28センチ

- ♪ オスは頭が赤い。



コゲラ 小さなキツツキ

- 場所** 森林や緑地
- 時期** 一年中
- 大きさ** 約15センチ

- ♪ もっとも小さいキツツキ。
- ♪ 茶色と白の模様になっている。

キツツキの見分け方

オス オス				
メス メス				
全身が黒い	羽が黄緑色 頭の前が赤い	羽が黒と白 頭が赤い	羽に白い模様 頭の後が赤い	羽は茶と白
キョーン	ピョーッ	キョッ、キョッ	キョッ、キョッ	ギイーッ
クマゲラ	ヤマゲラ	オオアカゲラ	アカゲラ	コゲラ



このほか、アリスイもいるよ。
♪あまり幹に縦にとまらない。
♪アリを食べ、長い舌を出す。



メスの頭



オス

クマゲラ まっ黒で大きい! ★★★★★

- 場所** 森林や緑地
- 時期** 一年中、特に冬
- 大きさ** 約 46 センチ

♪日本最大のキツツキで天然記念物。
♪全身が黒い。
♪オスは頭全体が赤い。
♪四角い穴をあける。

ヤマゲラ 緑っほい! ★★

- 場所** 森林や緑地
- 時期** 一年中
- 大きさ** 約 30 センチ

♪羽は黄緑色。
♪オスは前頭部が赤い。



オス



キツツキのあけた穴も見つけたら報告してください!
(写真はクマゲラのあけた穴)

トンボのなかま



幼虫（ヤゴ）は水の中で育ち、成虫は空を飛び回ります。水辺に多い!



オニヤンマ 黄色と黒のしま模様! ★★

- 場所** 小川や溪流ぞい
- 時期** 成虫は7～8月ごろ
- 大きさ** 約7～9センチ

♪目は緑色、体はトラ模様

にている種 **コオニヤンマ**

オニヤンマの顔(正面) コオニヤンマの顔(正面)



♪両目が接している。

♪両目がはなれる。

♪上部に角のような突起。

♪よく川ぞいのなわばりを行ったりきたりして飛んでいる。

オオルリボシヤンマ 4★ ★★ ぶり色のヤンマ!

- 場所** 沼や池、流れのゆるい川のそば
- 時期** 成虫は7～9月ごろ
- 大きさ** 約7～8センチ

♪体は、黄緑と黒のストライプ。メスには青と黒のタイプもある。

にている種 **ルリボシヤンマ**

♪むねの模様は先がふくらむ(右図: →)。



むねの模様



ルリボシヤンマ 4★ ★★

- 環境** 沼や池、湿地のそば

♪成虫の時期や大きさは、オオルリボシヤンマとほぼ同じ。

♪むねの模様は先がほくなる(右図: →)。



いわゆる「赤トンボ」にもいろいろな種がいます。見分けてみましょう!

アキアカネ ★

- 場所** 市街地にもふつうに見られる
- 時期** 成虫は7～10月ごろ
- 大きさ** 約4センチ

にている種 ナツアカネ

♪成熟すると赤くなる。メスは黄色のままのこともある。



むねの模様



♪真ん中の黒い模様は、先が細くなる。

ナツアカネ ★★ 最近増えた?!

- 場所** 市街地にもよく見られる
- 時期** アキアカネよりもやや早い
- 大きさ** 約4センチ

♪アキアカネに比べ、顔を含めて体全体が赤くなる。

むねの模様



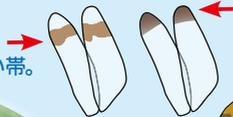
♪真ん中の黒い模様は、先まで太い。



ミヤマアカネ ★★

- 場所** 平地の川ぞいや池のそば
- 時期** 成虫は8～9月ごろ
- 大きさ** 約3.5センチ

♪ハネの先より内側に茶色い帯。



ノシメトンボ ★ ハネの先が黒!

- 場所** 市街地にもよく見られる
- 時期** 成虫は7～10月ごろ
- 大きさ** 約4センチ

にている種 ミヤマアカネ・コノシメトンボ

♪ノシメトンボとコノシメトンボはハネの先が黒い。

ノシメトンボ

♪むねの中央に黄色の太い模様。



コノシメトンボ



♪ノシメトンボよりもやや小さい。♪少ない。

シオカラトンボ ★★ 粉をふいたような体

- 場所** 市街地の川ぞいでも見られる
- 時期** 成虫は6～8月ごろ
- 大きさ** 約5センチ

♪オスは黄色から白青になり、先が黒い。メスはふつう黄色のまま。

にている種 シオヤトンボ



シオヤトンボ

♪シオカラトンボより小さく、尾が太い。出現時期がやや早い。



チョウのなかま



※「大きさ」はハネを広げた時の幅。

森の中やその周辺、川ぞいや空き地の草むらや、庭先などをさがしてみよう!



キアゲハ ★ 黄色で大きなチョウ

- 場所** 食草がある庭先や草むらなど
- 時期** 夏に羽化した成虫は9月ごろまで
- 大きさ** 約6～9センチ

♪ 食草はミツバやニンジンなどのセリ科の植物。

にている種 アゲハ

♪ キアゲハは前バネのつけねが全体に黒くなり、アゲハは黒い線が入る(下図の→)。

アゲハ (ナミアゲハ)

キアゲハとの違いは? ★★

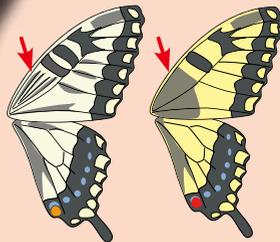
- 場所** 食樹のある庭先など
- 時期** 夏に羽化した成虫は9月ごろまで
- 大きさ** 約6～8センチ

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。



アゲハ

キアゲハ



ミヤマカラスアゲハ

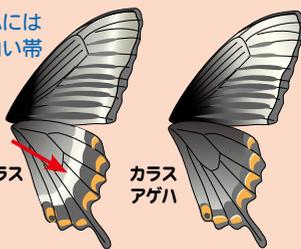
青いキラキラ! ★★★★★

- 場所** 森林や林道ぞいに多い
- 時期** 夏に羽化した成虫は9月ごろまで
- 大きさ** 約7～11センチ

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。
♪ アザミ類の花をよく訪れる。

にている種 カラスアゲハ

♪ ミヤマカラスアゲハには後ろバネのうらに白い帯がある(→)。



ミヤマカラスアゲハ

カラスアゲハ



♪ 林道の上で集団で吸水する姿がよく見られる。

アゲハの仲間以外にも、きれいなチョウやよく見られるチョウをさがしてください!

ベニシジミ ★ 小さなオレンジ色

場所 川ぞいや公園、道ばたの草むらに多い

時期 年3回ほど羽化し、成虫は9月ごろまで

大きさ 約3センチ

- ♪ 食草はエゾノギシギシなどのタデ科の植物。
- ♪ 前ハネは両面ともオレンジ色に黒い模様がある。
- ♪ 夏に羽化するものはやや黒みが強くなる。



モンキチョウ ★ よく見る黄色いチョウ

場所 川ぞいや公園、道ばたの草むらに多い

時期 年3、4回ほど羽化し、成虫は10月ごろまで

大きさ 約5センチ

- ♪ 食草はシロツメクサなどのマメ科の植物。
- ♪ オスは黄色いハネをもち、前バネのふちが黒くなる。メスのハネはほとんどが白い。

クジャクチョウ ★★★ ハネに目玉!

場所 山地の川ぞいに多い

時期 7月ごろに羽化し10月ごろまで見られる

大きさ 約5～6センチ

- ♪ 食草はイラクサ類で、キク科の花などでよく見られる。
- ♪ 成虫で越冬する。
- ♪ ハネには大きな目玉模様があるが、裏側は黒っぽく目立たない。



コムラサキ ★★★ 光る紫色!

場所 山地のヤナギ林のある川ぞいに多い

時期 7月ごろに羽化し8月ごろまで

大きさ 約6センチ

- ♪ 食草はヤナギ類。
- ♪ 川ぞいで吸水する姿も見られる。
- ♪ オスのハネは、見る角度によって紫色にかがやき美しい。メスにはこうした光沢はない。



クワガタのなかま



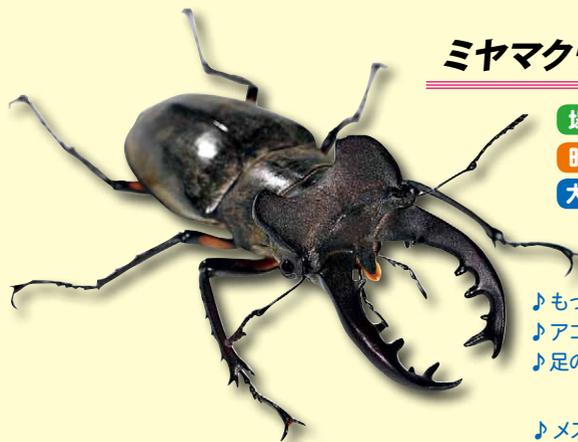
※「大きさ」はアゴを含めた長さ。

みんな見つけたい昆虫の王さま。本にはよく「クヌギ・コナラの木をさがそう」と書いてありますが、北海道ではミズナラ・ハルニレ・ヤナギなどの木にいます。

ミヤマクワガタ



☆☆ 北海道の代表!



- 場所** ミズナラやハルニレの木
- 時期** 7月に多い、8月はメスばかり
- 大きさ** 約3~7センチ

- ♪ もっとも大型になる。
- ♪ アゴの形は3タイプある。
- ♪ 足のもの裏側が黄色い。



♪ メスは黒っぽく光沢がある。 **メス**

アカアシクワガタ



裏から見ると赤い! ☆☆☆

- 場所** ヤナギやハルニレの木
- 時期** 7~9月
- 大きさ** 約3~6センチ

- ♪ 足のもの裏とおなか赤い。
- ♪ 街灯によく飛んでくる。



ノコギリクワガタ



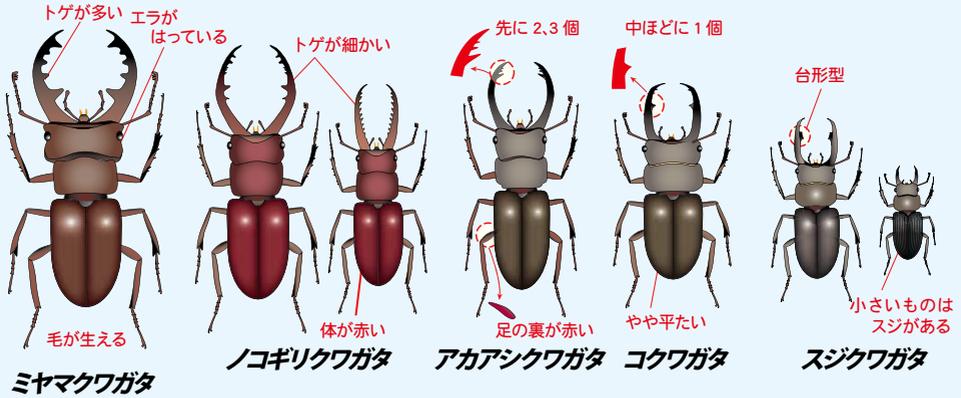
☆☆☆☆

- 場所** 川ぞいのヤナギに多い
- 時期** 7~8月
- 大きさ** 約3~7センチ

- ♪ 赤みがかったものが多い。
- ♪ アゴの大きさはさまざま

クワガタの見分け方

♪このほか、札幌にはヒメオオクワガタ、オニクワガタなどがある。



コクワガタ ★ 平べつたい!

場所 市街地の公園にも

時期 5～9月

大きさ 約 2～5センチ

♪黒っぽい。アゴのトゲは一つ。
♪街灯によく飛んでくる。

スジクワガタ ★ ハネにスジあり

場所 ハルニレやヤナギなどの木

時期 5～9月

♪オスもメスも背中にスジが入る。

大きさ 約 1.5～3センチ

♪よく地面を歩いている。

カブトムシ ★★ 元々いなかった 外来種

場所 街灯の下など

時期 7～9月

大きさ 約 5～6センチ

※北海道には元々いなかった虫で、本州から持ち込んだものが逃げるなどして増えています。

マルハナバチのなかま

※ ♀ は働きバチ、♂ はオスバチ、
♀ は女王バチを示す。

花と深いかわりを持つハチの仲間。去年に引き続き情報を募集します。5つに分けた色のパターンで報告してもらいます（種名が分かる人は種名も）。「マルハナバチ調査隊 2015」の手引きや「北海道マルハナバチ図鑑」も参考にしてください。

外来タイプ ★ セイヨウオオマルハナバチ

外来種



- ♪ お尻が白いのはこのタイプのみ。
- ♪ 胸の黒地にレモンイエローの帯がよく目立つ。
- ♪ オスとメスは似ている。

○ 2015年の結果

- ♪ 報告数 202 (32%)
- ♪ メッシュ数 89 (68%)

- 場所** 開けた環境を好み、農村部や大きな公園、庭などに多い。
- 時期** 7月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。
- 花** ラベンダー、ムラサキツメクサ、オオハンゴンソウ、コスモスなど。

※ トマトなどの受粉を助けるために導入された種で、野外に逃げたものが増え、在来種への悪影響などが心配されています。環境省の「特定外来生物」に指定され、生きたまま持ち運ぶことなどが禁止されています。

三色タイプ ★ オオマルが多いが、早い時期はコマルモ



エゾオオマルハナバチ

- ♪ 黒と白の縞模様で、お尻はオレンジ色。
- ♪ オスは全体に黄色味がかって、トーンがはっきりしない。

○ 2015年の結果

- ♪ 報告数 120 (19%)
- ♪ メッシュ数 62 (48%)

- 場所** 開けた環境を好み、どのような場所でもよく見られる。
- 時期** 7月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。
- 花** ささまざまな花を利用する。クローバー・ハマナスなど。



エゾコマルハナバチ ♀

- ♪ 働きバチがオオマルに似ているが、えりの白が薄い。
- ♪ 7月後半には数が減り、黄色タイプのオスが出てくる。

エゾヒメマルハナバチ ♀

- ♪ 女王がオオマルに似ているが、胸と腹のつなぎ目が白い。
- ♪ 高山でしか見られない。



★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

● 赤色タイプ

★★★★

アカマルハナバチ

8月にはいなくなる!



あか目立つタイプ



♀



♂

- ♪ 全身赤みの強いオレンジ色で、お尻が黒い。
- ♪ オスは赤みが薄いオレンジ色で、お尻の黒は目立たない。

○ 2015年の結果

♪ 報告数 24 (4%)

♪ メッシュ数 19 (15%)

場所 低地から高山まで。市街地でも見られるが少ない。

時期 7月後半はオスが増え、8月にはほとんど見られない。

花 夏はシロツメクサやラベンダーの花で見かける。

● 黄色タイプ

★★★

基本はトラマル。街で見えるのはコマルのオスかも。



きいろ目立つタイプ



♀



♂

● エゾトラマルハナバチ

- ♪ 全身薄いオレンジ色。
- ♪ 顔が長く、舌も長い。
- ♪ オスとメスはよく似ている。

○ 2015年の結果

♪ 報告数 111 (18%)

♪ メッシュ数 53 (41%)

場所 低地から亜高山まで分布するが、市街地では少ない。

時期 7月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。

花 長い花を好む。キツリフネ、エゾトリカブトなど。



♂

● エゾコマルハナバチ♂

- ♪ 全身明るい黄色で、お尻だけオレンジ。
- ♪ 8月中旬には見られなくなる。

○ エゾナガマルハナバチ

- ♪ 黄色味を帯びた灰色。
- ♪ 顔が長い。
- ♪ 主に高山に生息する。



♀

● 灰色タイプ

★

基本はニセハイロ。山ではナガマルが見られる。



しろっぽいタイプ



♀



♂

○ ハイロマルハナバチ (類)

- ♪ 全身灰色だが、むねは毛が少なく黒っぽく見える。
- ♪ ハイロ～類にはハイロとニセハイロを含む。野外での区別は難しいが、市内ではニセ～が多いと言われる。

○ 2015年の結果

♪ 報告数 202 (32%)

♪ メッシュ数 89 (68%)

場所 低地の開けた場所に多い。

時期 7月から9月にかけて。8月後半はオスも出てくる。

花 クローバーやクサフジなどのマメ科の花。



夏や秋にさく花

※「大きさ」は植物の高さを表す。

夏から秋にかけて目立つ花を 6 種選んでいます。

エゾトリカブト ★★ 強い毒で有名!

場所 自然林の林内や林のきわ

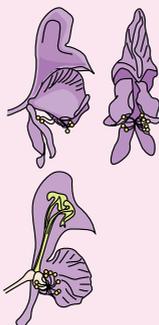
時期 8～10月ごろ

大きさ 約 70～150 センチ

♪かぶとのような形をした花。花びらに見えるのは、「がく」が変化したもの。

♪花にはマルハナバチ類が訪れる。

♪葉はギザギザに深くさけている。



アキノキリンソウ ★★ 秋の訪れを知る

場所 自然林の林内や林のきわ

時期 8～10月ごろ

大きさ 約 30～50 センチ

♪茎の先に、小さな黄色い花がまとまってつく。

♪花にはマルハナバチ類、チョウ類、ハナアブ類などが集まる。

♪外来種のアワダチソウ類と同じ仲間。



キツリフネ ★ ほうせんかの仲間

場所 林内や林のきわの湿ったところ

時期 7～9月ごろ

大きさ 約 70 センチ

♪ふねの形をした花が、つりさがるようにつく。

♪一年草でまとまって生える。

♪花にはエゾトラマルハナバチがみつをすいに訪れる。

♪実はさわるとはじけて、タネが飛び出す。



クサフジ ★ 青い花がすすなり

場所 林のふちの草むらや河原の草むら

時期 7～8月ごろ

大きさ 約 100～150 センチ



- ♪ つる植物で、まきひげで他の植物にかかまっている。
- ♪ 葉は細かく分かれて羽状。
- ♪ 小さい紫色の花がふさ状にまとまってつく。
- ♪ 花の入口は開じていて、マルハナバチ類が開けてみつをすう。



オオハンゴンソウ ★ 外来種

場所 林のふちや道ばた、河原など

時期 8～9月ごろ

大きさ 約 150～200 センチ

- ♪ 北アメリカ原産で、道ばたなどにびっしりまとまって生える。
- ♪ 花の中心がもりあがっていて、小さい花(筒状花)が集まってさく。
- ♪ 花にはマルハナバチ類やチョウ類が訪れる。



※環境省の「特定外来生物」に指定され、タネや植物の移動は禁止されています。

ツリガネニンジン ★★★★★ 自然草原の代表

場所 自然の草原や湿った草むら

時期 7～8月ごろ

大きさ 約 40～100 センチ

- ♪ 4～5枚の葉が車輪状につく。
- ♪ 茎の先にまとまって花がつく。花はうす紫色のつりがね形で、名前の由来にもなっている。
- ♪ 花にはマルハナバチ類が訪れる。



木の実のなかま

※「大きさ」は実の長さを表す。

秋は実のなる季節。なっているもの、落ちているものをさがしてください。

ミズナラ ★ 札幌のどんぐりは3種類!

場所 自然林や公園でよく見られる

時期 9～10月ごろ

大きさ 約3センチ

にている種 コナラ・カシワ



♪たくさんなる年とならない年がある(豊凶)。

コナラ ★★

♪実は細長くて小ぶり、たてじまが目立つ。
♪葉は柄がある。



場所 東部の清田区や厚別区に多い

大きさ 約2～3センチ

カシワ ★★★★★

♪実は丸く、ぼうしがそり返っている。
♪葉は厚く、丸みのあるギザギサ。



場所 海岸に多く、市内は少ない

大きさ 約3センチ

オニグルミ ★★ リスやネズミの大好物

場所 自然林のふちや川ぞいの林

時期 9月ごろ

大きさ 約3センチ

♪葉は羽状で毛が生える。

♪地面に落ちて、外側の果肉がくさるとかたいカラに入ったおなじみの実が残る。リスやネズミが好んで食べる。



♪青い実はウメのような形。
♪ふさ状につく。



ツノハシバミ ★★★★★

場所 市内西部の山地の自然林

時期 9～10月ごろ

大きさ 約3～4センチ

♪ひょうたんのような形。
♪表面は毛でフサフサ。



♪高さ4m程度の低木。



★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =やめずらしい

ホオノキ

★★★

実も葉もデカイ!

場所 広葉樹の林

時期 9～10月ごろ

大きさ 約15～20センチ



♪大きな実。始めは緑色で、赤く熟す。



♪熟すと実がわれて、赤いタネが出てくる。



キタコブシ

★★★

花は春一番

場所 広葉樹の林、公園など

時期 9～10月ごろ

大きさ 約5～8センチ



♪緑色から赤く熟す。

♪熟すとオレンジ色のタネが出る。

ヤマグワ



甘い実おいしい!

場所 林のふちや川ぞいの林

時期 7月ごろ

大きさ 約1～2センチ



♪トゲのようなものは、めしへのあと。



♪熟すと赤から黒になる。

カツラ



★★★

バナナのような形

場所 川のそばの広葉樹林

時期 9～10月ごろ

大きさ 約1～2センチ



♪枝に付いている。

♪中には小さいタネがたくさん。



ツリバナ



ぶら下がる赤い実

場所 自然林や公園

時期 9月ごろ

大きさ 約1センチ



にている種

コマユミ



♪2つに割れるタネは1個。

ヒロハツリバナ



♪4つにとがった手裏剣の形。



♪球状の実がくす玉のように5つにわれ、オレンジ色のタネが出る。

これまでの生き物一斉調査



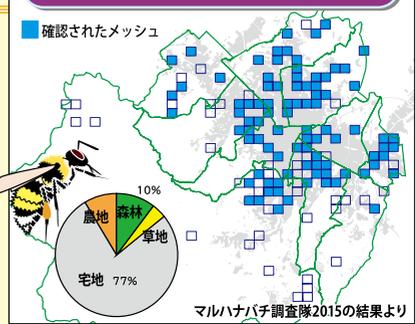
札幌市では、過去にも市民参加の生き物調査を実施してきました。それら市民調査の概要や、得られた結果について簡単に紹介します(くわしくは札幌市のサイトで!)

マルハナバチ調査隊 2015 (2015年)

2015年の夏に行った、市内に生息するマルハナバチの一斉調査には、82グループ計243名が参加しました。札幌市内に生息する10種類のハチを毛の模様で5つのタイプに分けて報告してもらい、札幌全体の約11%、市街地周辺の約3分の1の範囲を調べることができました。

分布が拡大しつつある外来種セイヨウオオマルハナバチがもっとも多く確認されましたが、在来種もたくさん確認されました(14~15ページ参照)。

セイヨウオオマルハナバチの分布マップ



今回の対象種で、「こんちゅうウオッチ」で上位にランクした7種

1. キアゲハ	90
2. ノシメトンボ	71
3. セイヨウオオマルハナバチ	62
4. アキアカネ	46
5. ミヤマクワガタ	40
6. コムラサキ	33
7. オニヤンマ	27

こんちゅうウオッチ (2014年)

2014年の夏に行った、市内に生息する昆虫の一斉調査には、122グループ計577名が参加しました。今回の対象種でもあるキアゲハやノシメトンボが多く報告されています。

■参考となる本・図鑑

●「探そう!ほっかいどうの虫」堀 繁久(2006)北海道新聞社●「札幌の昆虫」木野田君公(2006)北海道大学出版会●「日本産マルハナバチ図鑑」木野田君公ほか(2013)北海道大学出版会●「新北海道の花」梅沢 俊(2007)北海道大学出版会●「新訂 北海道野鳥図鑑」河井大輔ほか(2013)亜細西社●「自然ガイド 藻岩山・円山」さっぽろ自然調査館編(2013)北海道新聞社

■写真提供・監修 堀 繁久・道川富美子・さっぽろ自然調査館



○ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/28chosa.html>

○フェイスブック

<https://www.facebook.com/sapporo.ikimono/>

★お問い合わせ・結果の送付先

メールは、sapporo-ikimono@cho.co.jpへ。

郵送・電話・FAXは、下記の**事務局連絡先**へ。

たくさん送ってほしいんデッコー

札幌市の生物多様性PR
キャラクター「カッコー先生」



○さっぽろ生き物さがし 2016 事務局 (さっぽろ自然調査館内)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45 山岸ビル3階 ☎電話 011 (892) 5306 📠ファクス 011 (892) 5318

○主催 札幌市環境局 環境管理担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階 ☎電話 011 (211) 2879 📠ファクス 011 (218) 5108